

あわしま

粟島地区

(新潟県粟島浦村)

- 計 画 期 間 平成 23 年～平成 25 年
- 面 積 918ha
- 交付対象事業費 187 百万円
- 村人口 339 人 (地区内人口 339 人)

ポイント

粟島の原風景をとりもどす野生馬復活による島の再生

地区概要

野生馬関連施設整備により野生馬と組み合わせた新たな観光拠点を創出して通年型観光をめざすとともに交流の拡大を図り、地域の活性化につなげる。

目 標

- ①野生馬を活用した通年型観光による産業振興及び交流の拡大
- ②野生馬復活による島の活性化

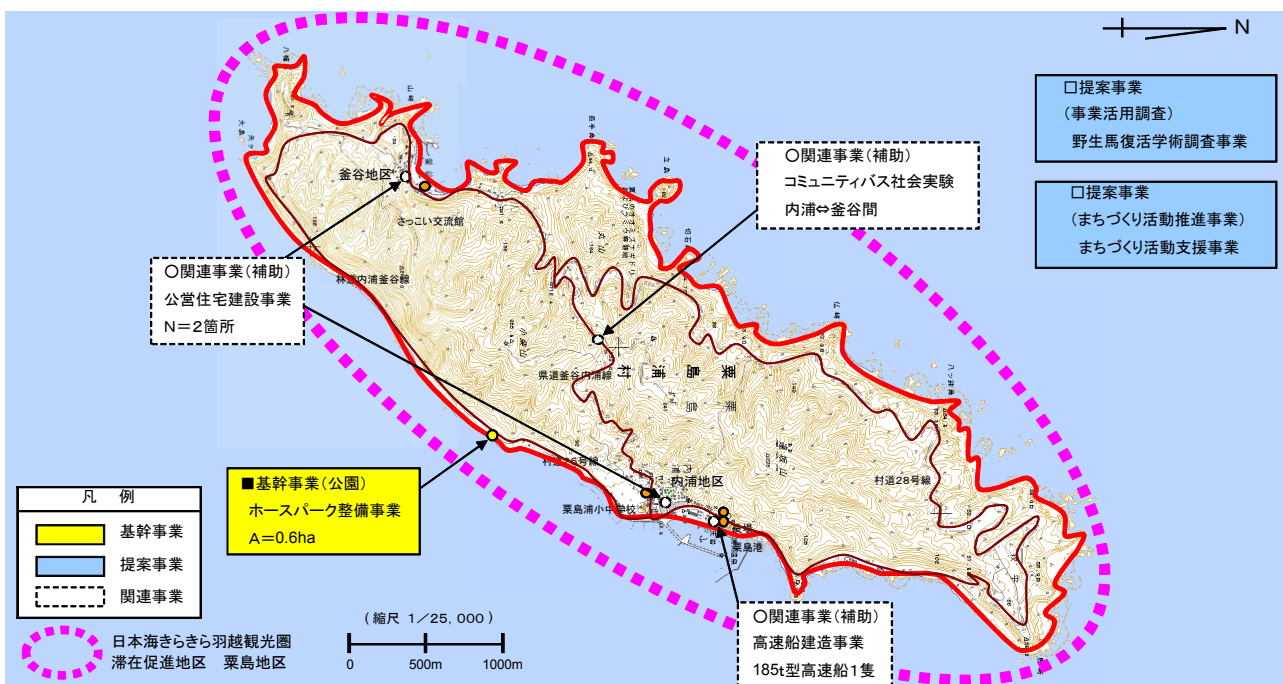
指 標

新たな観光拠点づくりによる交流人口・定着人口の増加を指標とした。

項 目	現況値 (年)	実績値 (年)
観光客入れ込み数	23,000 人 (H21) →	23,937 人 (H25)
「おと姫の湯」入浴者数	20,500 人 (H21) →	17,229 人 (H25)
村の人口	345 人 (H21) →	342 人 (H25)

事業内容

- 基幹事業 (184 百万円) → ホースパーク整備
- 提案事業 (3.4 百万円) → 野生馬復活学術調査、まちづくり活動支援



地区の現況と課題

当該地区は、新潟市の北方約 63 km、村上市岩船港の北西 35 kmの日本海に浮かぶ孤立小型離島で、瀬波笹川流れ粟島県立自然公園の豊かな自然に囲まれ、夏季を中心に多くの観光客が訪れている。

しかし、村民の依存度が最も高い観光産業は近年の経済不況から観光客がピーク時の 40%まで落ち込み、観光を取り巻く環境は厳しい状況にある。

また、過疎化が進む本村において基幹産業である漁業・観光の低迷により人口減少が進み、少子高齢化が進行することによるコミュニティ活動が低下するとともに耕作地の放棄及び里山の荒廃が顕著になり、自然環境の劣化が課題になっている。

提案事業の特徴

野生馬関連施設整備事業

地域の新たな観光拠点としてホースパーク整備に併せて厩舎を整備するとともに在来馬が生息していた牧平地区に放牧場を整備する。

野生馬復活学術調査

かつて生息していた在来馬のDNA鑑定等野生馬復活の学術調査を実施する。

まちづくり活動支援事業

ワークショップの開催や専門家の派遣等地元住民のまちづくり活動を支援する。

計画策定プロセス

粟島ドリームランド協議会

観光産業の衰退、人口の減少、少子高齢化によるコミュニティ活動の低下及び自然環境の劣化を踏まえて「粟島ドリームランド協議会」が発足し、平成22年9月にホーストレッキング社会実験を実施するなど、在来馬の新たな観光資源としての活用、島内に生息地がある国特別天然記念物「オオミズナギドリ」を活かした環境教育及び里山・里海の保全活動と循環型社会への取組を主目的に地域住民が主体となって活動に取り組んでいる。



粟島の野馬像



在来馬の文献資料



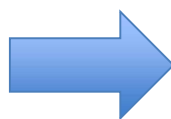
発掘された在来馬の骨



ホーストレッキング社会実験



ホースパーク整備前



ホースパーク整備後